

「木造住宅の耐震リフォーム達人塾」

講習プログラム

(対面版・オンライン版)

2026 年度版

国立大学法人名古屋工業大学高度防災工学研究センター

NPO 法人達人塾ねっと

木造住宅の耐震改修促進のための考え方と技術の伝授に向けて

名古屋工業大学高度防災工学研究センターでは、各講師の協力を得て全国各地で『木造住宅耐震リフォーム達人塾』を2013年度から開催してきました。2025年度までの13年間に33の都府県にて357回の講習を開催し、延べ約18,500名の建築士、設計士、大工、行政職員等に木造住宅の耐震改修促進に向けた技術的な講習を継続してまいりました。

達人塾は合理的で低コストの木造住宅耐震改修技術の普及を目的とした技術講習会です。安価な耐震改修工法の習得だけでなく、合理的な耐震診断・設計手法の習得、住宅所有者への説明技術の習得、行政・地域とのネットワーク活用の重要性など、木造住宅の耐震改修促進に必要な知識・技術・考え方などを総合的に伝授し、地域の耐震化促進を担うエキスパートの養成を目的としています。この考え方に基づき、達人塾では修得レベルや受講対象者に応じた7つの対面コースと、オンデマンドビデオをお好きな時間に視聴するオンライン形式の講習プログラムを用意しています。本冊子に示すようなそれぞれのコースの目標と講習内容をご理解いただき、達人塾の開催にあたっては受講者の修得度と経験を考慮の上、効果的な講習に向けてご配慮いただきますよう、よろしくお願いいたします。

目 次

対面版 2026 年度開催コース一覧	1
1. ベーシックコース	2
2. アドバンストコース	3
3. エキスパートコース	5
4. 施工演習コース	7
5. 設計演習コース	13
6. 地域応援コース	15
7. 地域のリーダー養成コース	17
対面版における受講申込受付方法およびテキストの頒布方法について	18
オンライン版 2026 年度開催概要	19
開催要件	26
達人塾開催のお申し込み・お問合せ先	27
講師情報	28

2026 年度 開講コース一覧 (対面版)

コース名	講習概要	受講対象者	講師	受講料/テキスト代
1. ベーシック コース (p.2)	木造住宅の耐震改修促進に向けた建築士・設計士・大工の役割を理解する。	これから低コスト工法を用いた耐震改修に取り組もうと考えている <u>建築士、大工、行政職員等</u> 。人数制限なし。	2026 年度は オンライン 講習のみ	受講料：無料 テキスト代：5,600 円(送料込) *詳細についてはオンライン版概要(p.19～)をご覧ください。
2. アドバンスト コース (p.3)	詳細診断、安価な耐震改修工法、家主に配慮した設計・施工、安心のための説明技術を習得し、設計演習課題に取り組む (6 時間)。	これから低コスト工法を用いた耐震改修に取り組もうと考えている <u>建築士、大工、行政職員等</u> 。人数制限なし。 *県・市町の行政担当者の方はテキスト代 無料 で受講いただけます (アドバンストコースのみ)。	井戸田 川 端 花 井 丸 谷 成 田	受講料：無料 テキスト代：5,000 円 (各コース共通) (事前にオンライン版を受講された方は対面版を無料で受講いただけます。オンライン版のテキストも対面版と共通です)
3. エキスパート コース (p.5)	診断・設計プログラムを用いて安価な耐震改修設計を実践し、グループワークを通して他の設計士と学ぶ (6 時間)。	「アドバンストコース」を受講された方、あるいは精密診断法を用いているが、更なるスキルアップに向けて技術を習得したい <u>建築士、設計士等</u> 。50 名以下。	井戸田 川 端 花 井 丸 谷 成 田	*達人塾/対面版では、お申し込み頂いた全受講者に 無料 でオンライン版テキストとオンデマンドビデオ視聴の ID, PW をご提供します。
4. 施工演習 コース (p.7)	施工演習で A 工法の正しい使い方を身につけるとともに、安価な工法の合理性、有効性を実感 (6 時間)。	安価な耐震改修工法の施工を体験し、耐震改修専用技術を習得したい <u>大工、建築士、行政職員等</u> 。50 名以下。	井戸田 花 井 丸 谷	*オンライン版を事前に開講いただき、対面講習の前にオンライン版で予習をしていただく開講方法もお勧めです (その場合のテキスト代は送料込¥5,600 円です)。
5. 設計演習 コース (p.13)	耐震診断・設計プログラム『達人診断』を使った診断・設計の徹底演習 (6 時間)。	耐震診断ソフト『達人診断』を駆使して耐震診断・改修設計に取り組みたい <u>建築士</u> 。人数制限なし。	井戸田 花 井 成 田	*県市等で一括してテキストをご利用いただける場合には、 50 部以上で 5%、100 部以上で 10%、200 部以上で 20%割引 いたします。
6. 地域応援 コース (p.15)	地域でがんばる建築士・大工さんの改修事例を共有し、設計・現場の問題点を Q&A で解決 (3~6 時間)。	耐震改修の実績があり、 <u>さらなるスキルアップと業務の拡大をめざす建築士、工務店、大工、行政職員等</u> 。人数制限なし。	井戸田 花 井 + 1~2 名	
7. 地域のリーダー 養成コース (p.17)	p.17 をご参照ください		井戸田 花 井 + 1~2 名	-

同一年度内に複数回受講される方は、受講コースにかかわらず 2 回目以降のテキスト代は不要です。また、同一年度ですでにオンライン版をご受講いただいている方は、オンライン版の資料を当日ご持参いただくことで、テキスト代無料で対面版をご受講可能です。担当講師は変更する場合があります。開催要件、達人塾開催のお申し込み、講師情報に関しては、p.26 以降をご覧ください。

1 ベーシックコース（初心者向け，オンライン版のみ）

■ 対象

耐震診断・耐震改修の経験が全くない、あるいは耐震診断・改修設計ともに一般診断法（Wee）を用いている建築士、設計士、大工、行政職員等。今後、業務の拡大に向けて耐震改修にも取り組んでいこうと考えている方を含め、関心のある方にできるだけ多く聴講していただきたい入門プログラムです。今年度もオンライン版のみの開講とさせていただきます。原則として都道府県市町様に主催をお願いしております。なお、オンライン版には受講コースの区分はありませんので、オンライン版ご受講の方は全コースに対応した18の講習ビデオが全てご視聴いただけます。

■ 目標

1. 耐震改修には新築とは全く異なった技術と考え方が必要であることを理解する。
2. 行政・地域とのネットワークを活用することの重要性を理解する。
3. 使用頻度の高いいくつかの耐震改修専用工法と活用法を知る。
4. 一般診断法の課題を理解し、精密診断法の必要性を認識する。
5. 耐震改修工事の実例を通して設計・施工上の要点を理解する。

■ プログラム例

p. 19の講義対応表を参考にベーシックコースに対応した講義を視聴してください。理解が進んだら、他のコースの視聴へと進んでください。

■ 主催者様にご準備いただきたい事項

オンライン版の開催方式によって異なります。p. 22以降の開催方式別役割分担をご参照ください。なお、オンライン版には開催コースの区別はありません。オンライン版受講者は、18の講義全てをご視聴いただけますので、ご自分の理解度に応じて、またご興味に応じて、視聴する講義を選んでください。

2 アドバンストコース（入門コース）

■ 対象と目的

これから住宅の耐震改修に取り組もうと思われている方、あるいは安価な耐震改修設計の重要性、精密診断の必要性は認識しているが、それを実行する技術が未習得の建築士、設計士、大工、行政職員等。ノートパソコンを使って低コスト化の基本を習得します。午前中の座学はベーシックコースにほぼ対応しているため、初めて受講される方でも無理なくご理解できる入門コースです。原則として都道府県市町様に主催をお願いしています。

■ 目標

1. 住宅所有者の意思決定支援のための説明ツールの使い方を理解する。
2. 安価な耐震改修専用工法を理解するとともに、実例を通して各工法の合理的な使い方と住宅所有者に配慮した設計・施工のポイントを習得する。
3. 耐震改修先進県事例から自県の取り組みの問題点を把握する（行政関係者）。
4. 精密診断による必要耐力、N値計算の計算演習を行い、それらの重要性・必要性を理解する。
5. 設計演習課題を通して、耐震診断・改修設計の基本的な方針と考え方を身につける。

■ プログラム例（6時間程度）

- 9:30 開会あいさつ（主催者）（5分）
- 9:35 「7つの鉄則と住宅所有者への説明技術」（井戸田）（45分）
- 10:20 「低コスト耐震補強の手引き解説」（花井）（55分）
- 11:15 休憩（5分）
- 11:20 「設計例・施工例から学ぶ改修のポイント」（丸谷）（40分）
- 12:00 休憩（60分）
- 13:00 「耐震改修先進県の取り組みと事例」（川端）（15分）
- 13:15 「手計算で理解する必要耐力、N値計算法」（成田）（70分）
- 14:25 課題説明と入力演習（全員）（35分）（以降の講習は4～5人のグループで実施します）
- 15:00 各自演習課題取り組み（適宜休憩含む）（全員）（50分）
行政職員を対象とした講習（別室・川端）（50分）
- 15:50 達人案解説＋質疑応答＋アンケート記入（全員）（40分）
- 16:30 終了

■ 主催者様にご準備いただきたい事項

1. 受講者へのアナウンスと募集

周知チラシを作成し、HP等でアナウンスをお願いします。チラシには、共催に「国立大学法人名古屋工業大学高度防災工学研究センター」、後援に「特定非営利活動法人達人塾ねっと」を位置付けてください。また、耐震診断ソフト『T.S.』（無料体験版）をインストールしたノートパソコンの持参（推奨）について、次ページの内容を事前に受講者にアナウンスして下さい。

2. 受講者からの受講申込の受付

p.18「対面版における受講申込受付方法およびテキストの頒布方法について」をご覧ください。

3. 講習会会場の設営と司会進行

会場の借り上げ、会場費の負担、液晶プロジェクター・スクリーン・マイク（できれば2本以上）。グループワーク用に机の移動が可能な会場をご準備ください。司会進行もお願いいたします。

「木造住宅の耐震リフォーム達人塾 アドバンストコース」 を受講される方へお願い

「木造住宅の耐震リフォーム達人塾 アドバンストコース」では、安価な耐震改修設計の効果的なノウハウ伝授を目指して、ノートパソコンを使った演習を実施いたします。パソコンのご準備等について、下記の点について事前にご了解・ご準備いただきますよう、お願い申し上げます。

1. ノートパソコンと名刺の持参について

本講習では具体的な例題を通して耐震改修設計の演習を行っていただく予定です。パソコンの持参は必須ではありませんが、耐震診断ソフトを入れたパソコンをお持ちいただくとより講習効果が高まります。ノートパソコンご持参での受講をお勧めいたします。また、今後低コスト工法を学び合う仲間を作っていただくため、名刺のご持参をお願いします。

2. 耐震診断ソフト「T.S.」無料体験版と課題データのダウンロードについて

ノートパソコンをお持ちいただく場合、木造住宅の耐震診断のためのソフトウェアをインストールの上ご持参下さい。耐震診断ソフトは精密診断に対応したものであれば普段お使いのソフトで構いませんが、達人塾では安価な耐震改修専用開発した『T.S.』のご利用をお勧めしています。『T.S.』とその課題データは下記の要領でダウンロードできます。

＜『T.S.』無料体験版および課題データのダウンロード方法＞

- ① <http://tatsujinjuku.net/shiryo.html> の「資料室」に行く。
- ② 課題平面図下にある「課題1～4+T.S.体験版(kadai&ts2026.zip)」をクリックしてダウンロードする（ダウンロードがうまくいかない場合は、右クリックでメニューから「リンク先ファイルをダウンロード」を選択してみてください）。

3. 耐震診断ソフト「T.S.」のインストールについて

「2」でダウンロードしたデータを解凍すると、耐震診断ソフト『T.S.』のインストーラーと「設計演習課題（1）～（4）」および操作マニュアル「『T.S.』超簡単入力マニュアル」が現れます。インストーラーを使って耐震診断ソフト『T.S.』をパソコンにインストールしておいてください。「設計演習課題（1）～（4）」は任意のフォルダ（起動時作業フォルダとする）に格納しておいてください。

また、『T.S.』超簡単入力マニュアルで講習前に操作方法を習得しておいて頂くと、更に効率的な講習となります。

■ 対象と目的

「アドバンストコース」を受講された方、あるいは精密診断法を用い安価な耐震改修設計を実践しているが、更なるスキルアップに向けて技術を習得したい建築士、大工、行政職員等。5人前後のグループワークによる少人数の演習ベースとするため、受講者数は50名以下が望ましい。ノートパソコンを使って、やや難易度の高い耐震改修設計に取り組むとともに、グループワークと成果発表で実践的な設計力をプレゼンテーション能力を身につけ、今後耐震改修業務を相談できる仲間を作ることも本コースの目的です。原則として都道府縣市町様に主催をお願いしております。

■ 目標

1. 住宅所有者に耐震改修をする気になってもらうための考え方を理解し、技術を身につける。
2. 精密診断法の基本と内容を理解し、具体的な診断方法を身につける。
3. 事例を通して、改修専用工法の合理的な使い方と家主に配慮した設計・施工の要点を理解する。
4. 耐震診断ソフトを用いて精密診断が実践でき、より安価な耐震改修設計の提案力を身につける。
5. 改修建物に応じた柔軟な設計プランの提示と、工事中の設計変更の必要性について理解する。

■ プログラム例（6時間程度）

- 9:30 開会あいさつ（主催者）（5分）
- 9:35 「7つの鉄則と住宅の安全・安心について」（井戸田）（45分）
- 10:20 「低コスト耐震補強工法の最新情報」（花井）（45分）
- 11:05 休憩（5分）
- 11:10 「手計算で理解する必要耐力、N値計算法」（成田）（70分）
- 12:20 休憩（60分）
- 13:20 「設計者と工務店・大工の連携による耐震改修の推進」（川端）（15分）
- 13:35 入力演習と課題説明＋設計演習（以降5名程度のグループワーク、適宜休憩）（全員）（100分）
- 15:15 設計案の発表と講評、達人案解説＋質疑応答＋アンケート記入（全員）（75分）
- 16:30 終了

■ 主催者様にご準備いただきたい事項

1. 受講者へのアナウンスと募集

周知チラシを作成し、HP等でアナウンスをお願いします。チラシには、共催に「国立大学法人名古屋工業大学高度防災工学研究センター」、後援に「特定非営利活動法人達人塾ねっと」を位置付けてください。また、耐震診断ソフト『T.S.』（無料体験版）をインストールしたノートパソコンの持参（必須）について、次ページの内容を事前に受講者にアナウンスして下さい。

2. 受講申し込みの受付

p.18「対面版における受講申込受付方法およびテキストの頒布方法について」をご覧ください。

3. 講習会会場の設営と司会進行

講習会会場の借り上げ、会場費の負担、液晶プロジェクター・スクリーン・マイク（できれば2本以上）の準備。グループワーク用に机の移動が可能な会場をご準備ください。司会進行もお願いいたします。

「木造住宅の耐震リフォーム達人塾 エキスパートコース」 を受講される方へお願い

「木造住宅の耐震リフォーム達人塾 エキスパートコース」では、安価な耐震改修設計の効果的なノウハウ伝授を目指して、ノートパソコンを使ったグループ演習を実施いたします。パソコンのご準備等について、下記の点について事前にご了解・ご準備いただきますよう、お願い申し上げます。

1. ノートパソコンと名刺の持参について

本講習では具体的な例題を通して耐震改修設計の演習を行います。耐震診断ソフトを入れたパソコンをご持参ください。また、今後低コスト工法を学び合う仲間を作っていただくため、名刺のご持参をお願いします。

2. 耐震診断ソフト「T.S.」無料体験版と課題データのダウンロードについて

木造住宅の耐震診断のためのソフトウェアをインストールの上ご持参下さい。耐震診断ソフトは精密診断に対応したものであれば普段お使いのソフトで構いませんが、達人塾では安価な耐震改修専用開発した『T.S.』のご利用をお勧めしています。『T.S.』とその課題データは下記の要領でダウンロードできます。

<『T.S.』無料体験版および課題データのダウンロード方法>

- ① <http://tatsujinjuku.net/shiryo.html> の「資料室」に行く。
- ② 課題平面図下にある「課題1～4+T.S.体験版(kadai&ts2026.zip)」をクリックしてダウンロードする（ダウンロードがうまくいかない場合は、右クリックでメニューから「リンク先ファイルをダウンロード」を選択してみてください）。

3. 耐震診断ソフト「T.S.」のインストールについて

「2」でダウンロードしたデータを解凍すると、耐震診断ソフト『T.S.』のインストーラーと「設計演習課題（1）～（4）」および操作マニュアル「『T.S.』超簡単入力マニュアル」が現れます。インストーラーを使って耐震診断ソフト『T.S.』をパソコンにインストールしておいてください。「設計演習課題（1）～（4）」は任意のフォルダ（起動時作業フォルダとする）に格納しておいてください。

また、『T.S.』超簡単入力マニュアルで講習前に操作方法を習得しておいて頂くと、更に効率的な講習となります。

■ 対象と目的

「達人塾施工演習コース」は、耐震改修専用工法である有開口面材耐力壁（A工法）の施工を体験し、A工法の正しい使い方を身につけるとともに、耐震改修専用工法の合理性・有効性を実感していただくための講習です。また、専用工法を経験することで施工の合理性も考慮したより柔軟な設計を理解していただきます。対象は、木造住宅の耐震改修に携わる施工者、大工、建築士、行政職員等。実施にあたっては、下記の各項目についてご準備をお願いいたします。ご準備が難しい項目については適宜ご相談下さい。受講者数は50名程度以下。1回の講習で50名を超える場合はご相談ください。原則として都道府県市町様に主催をお願いしております。

■ プログラム例（6時間程度）

午前中の座学は主にベーシックコースに対応し、安価な耐震改修の設計・施工を基本から学びます。午後は実大の模型を用いて施工演習を行います。ベーシックコース以上をすでに受講済の方、オンライン版で予習済みの方は、午後のみ受講も可能です。

- 9：30 開会挨拶（主催者）（5分）
- 9：35 「耐震改修促進のための7つの鉄則」（井戸田）（50分）
- 10：25 「安価な耐震改修工法紹介」（花井）（60分）
（休憩）（5分）
- 11：30 「耐震改修を諦めさせないために」（丸谷）（30分）
- 12：00 （休憩）（60分）
- 13：00 「木造住宅の施工品質と耐震性能」（井戸田）（15分）
- 13：15 「施工者として知っておきたい耐震改修設計の基本」（花井）（30分）
- 13：45 「低コスト耐震改修事例」（丸谷）（40分）
（休憩・移動）
- 14：35 模型を使った施工実習・実演（全員）（90分）
- 16：15 質疑応答＋アンケート記入（15分）
- 16：30 終了

■ 施工演習で用いる工法

有開口面材耐力壁の代表的な工法として、下記の2工法を対象に実技講習を行います。実技演習用の模型を主催者様でご用意ください。それぞれの工法の概要は参考資料をご参照下さい。

工法1 <A-435> 真壁「上下あき」アルミ材下地（p. 11、参考資料1）

工法2 <A-233 カ、マ> 大壁入隅「上下あき対象壁勝ち、負け」裏棧なし（p. 12、参考資料2）

■ 必要な既存建物構面

上記2工法を施工する既存建物構面として、以下の2箇所を対象とします。いずれの構面も真壁納まりであれば、壁体内には土壁等があっても構いませんが、間柱、筋かいは入れないでください。基礎の有無は問いません。

講習1セットで以下の2構面を使用します。講習後は柱に釘穴、ビス穴が残ります。

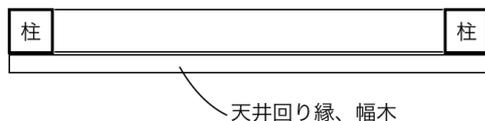
既存構面1 土壁を想定した半間の1構面 <A-435> 講習用



「A-435」の施工講習で用います。半間の壁に真壁で構造用合板を施工します。壁体内には土壁があるのが理想ですが、土壁でなくても問題ありません。土壁がない場合には、土壁を想定して柱面から25mmほど奥に入ったところ（チリの幅だけ奥まったところ）に面材を張っておいてください。このとき、面材の受け材は柱頭・柱脚の30cm程度の範囲には入れないで下さい。

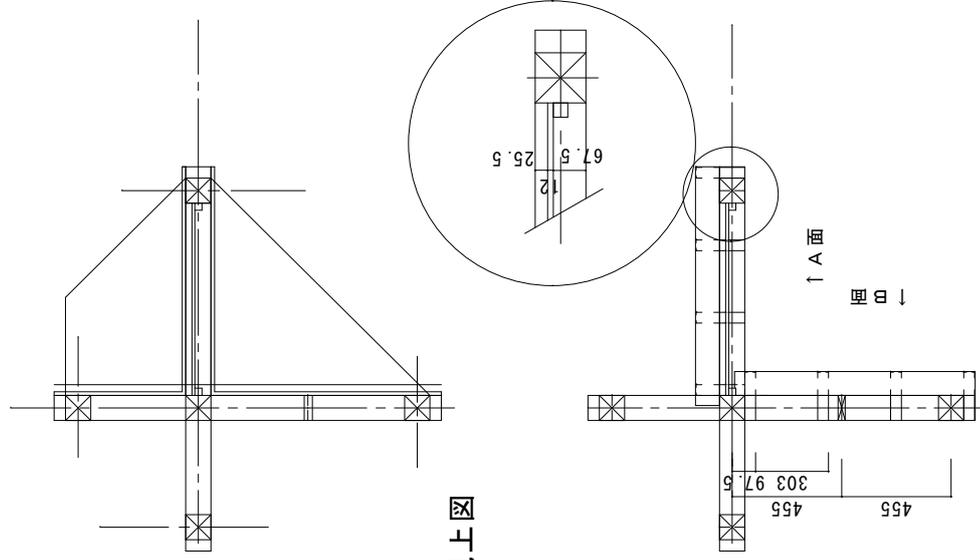
天井位置に廻り縁、床位置に簡単な幅木を設けて下さい。間柱、筋かいは入れないで下さい。自立型講習模型の図面を次ページに示します。各寸法はあくまで目安です。製作手間や会場の都合で適宜変更いただいて結構です。

既存構面2 半間の乾式構面 <A-233 カ> 講習用



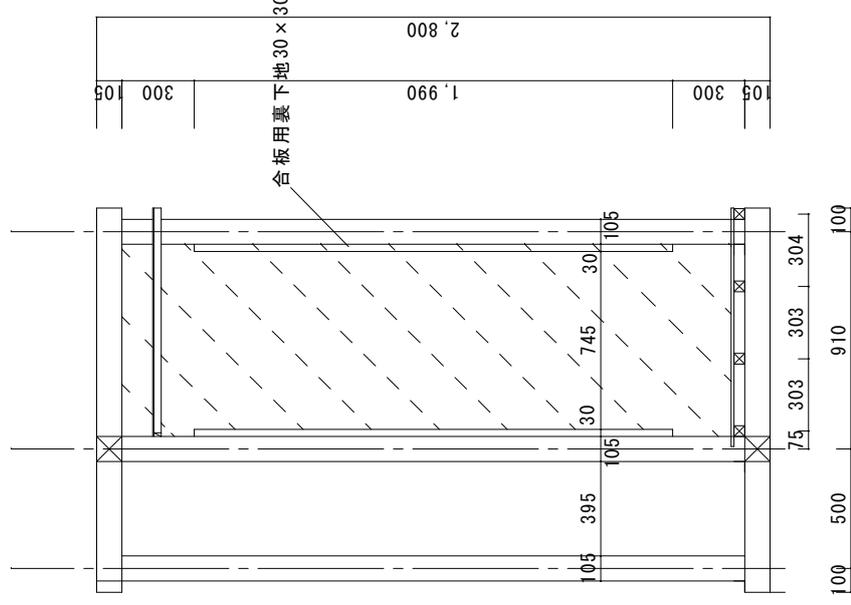
「A-233 カ, マ」の施工講習で用います。半間の入隅に大壁で構造用合板を施工します。柱があれば講習可能ですが、壁の入隅部分があるとより分かりやすいです。

見下図

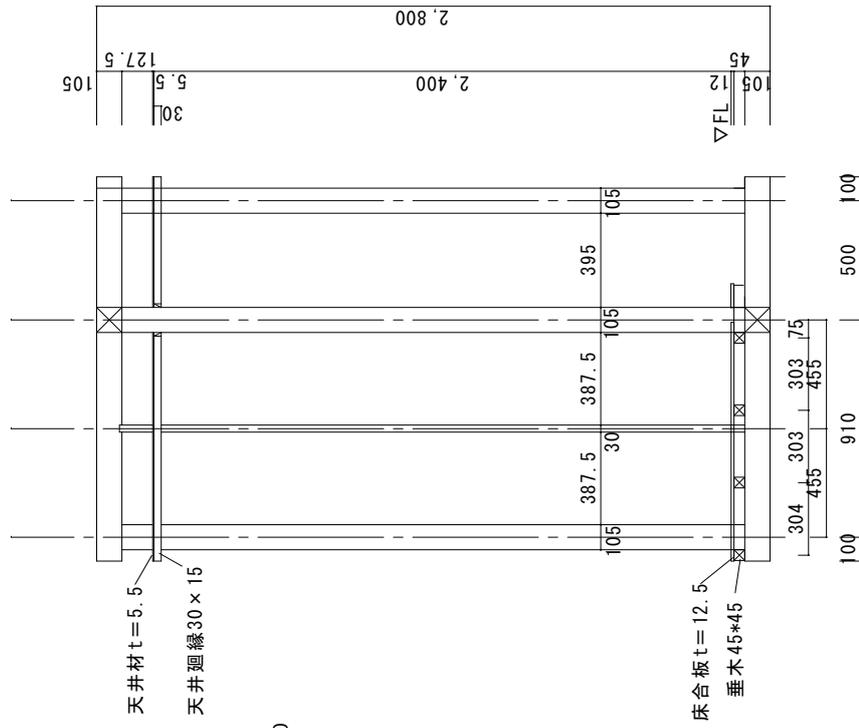


自立型模型の例

A 面



B 面



見上図

■ 必要材料

- 材料1** 不等辺アルミアングル：9×40，t=1.5または15×40，t=2（L=2,400程度を2本、継足し可）
- 材料2** 裏棧：30×40（L=1,200程度を2本）、樹種は問いません
- 材料3** ビス：コーススレッド 3.8×32、セルフドリルネジ（皿） 4×30（それぞれ50本程度）
- 材料4** 構造用合板：3尺×6尺、t=12（2枚）（内1枚は柱内法寸法-14mm幅に裁断してください）
- 材料5** 接合部金物：一般的なコーナー接合金物（例：タナカ シナーコーナーなど）（2個）

■ 必要工具

- 工具1** 電動インパクトドライバー（2台）
- 工具2** 六角ソケット（M8用13mmナット締付用）（1本）
- 工具3** メガネレンチ（13mmナット用）（2本）
- 工具4** 四角ビット（シナーコーナー施工用）（1本）ロングビット，ショートビットもあると良い。
- 工具5** グラインダ（アルミアングルカット用）（1台）
- 工具6** 電鋸（構造用合板切断用）（1台）
- 工具7** アルミ用ドリルビット（アルミアングル下孔用、φ3.0～3.2mm）（2本）

■ 主催者様にご準備いただきたい事項

1. 受講者へのアナウンスと募集

周知チラシを作成し、HP等でアナウンスをお願いします。チラシには、共催に「国立大学法人名古屋工業大学高度防災工学研究センター」、後援に「特定非営利活動法人達人塾ねっと」を位置付けてください。また、受講者への名刺の持参もアナウンスしてください。

2. 受講申し込みの受付

p.18「対面版における受講申込受付方法およびテキストの頒布方法について」をご覧ください。

3. 講習会会場の設営と司会進行

講習会会場の借り上げ、会場費の負担、液晶プロジェクター・スクリーン・マイク（できれば2本以上）の準備。実技会場での拡声器。司会進行もお願いいたします。

4. 施工構面の準備と施工講習助手

(a) 施工構面の準備：p.8、p.9に示した既存建物の補強構面、およびp.10の必要材料と必要工具をご準備ください。補強構面はポリテクセンターなどの実技用実大建物をご利用いただいても結構ですし、p.9に示すような自立型の模型を講習会会場にご用意いただいても結構です。

(b) 施工演習助手：合板をビス打ちしたり、仕口金物を取り付けたりする作業の補助をしていただける大工さん1～2名。受講者の方にその場でお願いして手伝っていただくことも可能ですが、できれば事前にその旨を依頼した方をご準備いただけるとありがたいです。

5. 耐震改修専用金物の送付について

施工演習コースでは、耐震改修専用の金物（住宅構造研究所：ホールダウンランサーII）を使用します。この専用金物は講習会前日までに主催者様に郵送いたしますので、お受け取りのほどよろしくお願いいたします。講習会当日に会場にご用意頂ければ結構です。事前施工の必要はありません。

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	評価日	平成 28 年 2 月 8 日	評価番号	A-435	
評価技術名称					連絡先				
部分開口 構造用合板補強工法					http://www.				
真壁「上下あき」アルミ材下地					〒		電話		Fax
概要	技術概要				実験実施機関				
	床、天井間のみをアルミアングルと構造用合板で補強する工法。				名古屋工業大学				
	技術の特徴				コスト				
	<ul style="list-style-type: none"> 土壁・天井・床を解体することなく真壁や入隅に施工が可能。 真壁の仕上がりで補強が可能 壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能。 				サンプル構面		18,002 円/kN		
公的機関による技術評価・性能証明				その他					
機関名				評価番号				評価取得日	
適用範囲				写真・図					
構法		木造在来軸組工法							
規模		3 階建て以下							
基礎、地盤		特になし							
適用部位		内外壁							
その他		特になし							
主要構成部材の仕様									
構造用合板 厚 12mm 以上									
タッピングビス φ3×L30、木ビス(コーススレッド) φ3.8×L32、セルフドリルネジ φ4×L30 のいずれか @100mm 以下、川の字打ち									
アルミ不等辺アングル 9×40 t=1.5 またはこれ以上のサイズのもの									
JIS H4100 の A6063-T5 材(アルミ建築構造設計基準で AS110 材)またはこれと同等の強度を有するもの									
木ビス(コーススレッド) φ3.8×L32、先孔 φ3									
アングル角部を斜め打ち、@100mm 以下									
耐震性能									
評価仕様:アルミアングル下地 真壁仕様									
壁基準耐力		壁基準剛性							
4.16kN/m		584kN/rad./m							
A-111 からの低減係数 α=0.8									
壁基準耐力 5.2×0.8=4.16									
設計方法									
①柱接合部による低減									
取付部分が健全であること									
②劣化による低減									
取付部分が健全であること									
施工者指定									
特になし									
その他 旧 A-006									
H28 年度 ビスの種類追加									

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	評価日	平成 29 年 1 月 25 日	評価番号	A-233 カ
評価技術名称					連絡先			
部分開口 構造用合板補強工法					http://www.			
大壁入隅「上下あき 対象壁勝ち」					〒		電話	
					Fax			
概要	技術概要							
	大壁仕様、入隅部の、床天井間のみで補強可能な工法。							
	技術の特徴						コスト	
<ul style="list-style-type: none"> 天井・床を解体することなく補強が可能。 壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能。 一般流通品なので取り扱いが容易。 						サンプル構面		14,089 円/kN
						設計見積り例		—
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関			
機関名					名古屋工業大学			
評価番号					その他			
評価取得日								
仕様	適用範囲				写真・図			
	構法	木造在来軸組工法						
	規模	3 階建て以下						
	基礎、地盤	特になし						
	適用部位	内外壁						
	その他	特になし						
	主要構成部材の仕様							
	構造用合板 厚 12mm 以上							
	釘 N50、CN50 @100 以下							
	間柱、継手受材、上下受材なし							
耐震性能								
評価仕様: 大壁直貼仕様								
壁基準耐力		壁基準剛性						
3.64kN/m		511kN/rad/m						
A-111 からの低減係数 $\alpha = 0.7$								
壁基準耐力 $5.2 \times 0.7 = 3.64$								
設計方法								
①柱接合部による低減								
取付部分が健全であること								
②劣化による低減								
取付部分が健全であること								
施工者指定								
特になし								
その他								

5 設計演習コース

■ 対象と目的

達人塾が推奨する耐震診断プログラム『達人診断』を用いた徹底演習を行い、精密診断法を使った合理的な耐震補強設計のスキルアップを目指すコースです。達人塾「アドバンスコース」以上のコースを受講していることが望ましいですが、『達人診断』の活用スキルのみを習得したい方でも受講できます。受講前に耐震診断ソフト『T.S.』の無料体験版をダウンロードし、基本操作を習得しておくとともに、『設計演習課題（2）～（4）』の建物データをノートパソコンに保存しておくことが必要です。オンライン版での事前の予習をお勧めします。

■ 目標

1. 低コストで合理的な耐震補強設計を行うためのフローを理解する。
2. 演習問題を通して精算法とN値計算を理解する。
3. 耐震診断ソフト『達人診断』の基本的な操作をマスターする。
4. 設計演習課題を通して、精算法、偏心率計算、N値計算の効果を実感する。
5. A工法を活用し、金物の合理的な使い方を踏まえた安価な設計プランに挑戦する。

■ プログラム例（6時間程度）

10:00 開会あいさつ（主催者）（5分）

10:05 「安価な耐震改修のための7つの鉄則」（井戸田）（30分）

10:35 「低コスト耐震補強の手引き解説」（花井）（45分）

11:20 「精密診断による必要耐力の算定」（成田）（40分）

12:00 （休憩）（60分）

13:00 「問題演習および改修プランの解説」（全員）（240分）

*習熟度に応じて個別指導し、レベルの異なる3つの設計演習課題に取り組んでいきます。

17:00 終了

■ 主催者様にご準備いただきたい事項

1. 受講者へのアナウンスと募集

周知チラシを作成し、HP等でアナウンスをお願いします。チラシには、共催に「国立大学法人名古屋工業大学高度防災工学研究センター」、後援に「特定非営利活動法人達人塾ねっと」を位置付けてください。また、耐震診断ソフト『T.S.』（無料体験版）をインストールしたノートパソコンの持参（必須）について、次ページの内容を事前に受講者にアナウンスして下さい。

2. 受講申し込みの受付

p.18「対面版における受講申込受付方法およびテキストの頒布方法について」をご覧ください。

3. 講習会会場の設営と司会進行

講習会会場の借り上げ、会場費の負担、液晶プロジェクター・スクリーン・マイク（できれば2本以上）の準備。グループワーク用に机の移動が可能な会場をご準備ください。司会進行もお願いいたします。

「木造住宅の耐震リフォーム達人塾 設計演習コース」 を受講される方へお願い

「木造住宅の耐震リフォーム達人塾 設計演習コース」では、安価な耐震改修設計の効果的なノウハウ伝授を目指して、ノートパソコンを使った設計演習を実施いたします。パソコンのご準備等について、下記の点について事前にご了解・ご準備いただきますよう、お願い申し上げます。

1. ノートパソコンと名刺の持参について

本講習では具体的な例題を通して耐震改修設計の演習を行います。耐震診断ソフトを入れたパソコンをご持参ください。また、今後低コスト工法を学び合う仲間を作っていただくため、名刺のご持参をお願いします。

2. 耐震診断ソフト「T.S.」無料体験版と課題データのダウンロードについて

木造住宅の耐震診断のためのソフトウェアをインストールの上ご持参下さい。耐震診断ソフトは精密診断に対応したものであれば普段お使いのソフトで構いませんが、達人塾では安価な耐震改修専用開発した『T.S.』のご利用をお勧めしています。『T.S.』とその課題データは下記の要領でダウンロードできます。

＜『T.S.』無料体験版および課題データのダウンロード方法＞

- ① <http://tatsujinjuku.net/shiryo.html> の「資料室」に行く。
- ② 課題平面図下にある「課題1～4+T.S.体験版(kadai&ts2026.zip)」をクリックしてダウンロードする（ダウンロードがうまくいかない場合は、右クリックでメニューから「リンク先ファイルをダウンロード」を選択してみてください）。

3. 耐震診断ソフト「T.S.」のインストールについて

「2」でダウンロードしたデータを解凍すると、耐震診断ソフト『T.S.』のインストーラーと「設計演習課題（1）～（4）」および操作マニュアル「『T.S.』超簡単入力マニュアル」が現れます。インストーラーを使って耐震診断ソフト『T.S.』をパソコンにインストールしておいてください。「設計演習課題（1）～（4）」は任意のフォルダ（起動時作業フォルダとする）に格納しておいてください。

また、『T.S.』超簡単入力マニュアルで講習前に操作方法を習得しておいて頂くと、更に効率的な講習となります。

■ 対象と目的

地域でがんばる建築士・工務店・大工さんの改修設計案・体験を参加者と講師で共有し、耐震改修設計・現場の課題、問題点を具体的に検討・解決するとともに、耐震改修促進に向けたより合理的な改修方法を学ぶ課題解決型の新設コースです。耐震改修の実績があり、さらなるスキルアップと業務の拡大をめざす建築士、工務店、大工、改修促進のための補助制度の充実を考える行政職員等が対象。人数制限なし。主催者様の各地域ですでに耐震改修実績のある建築士・工務店・大工さん等に今後予定している改修物件または既に実施済みの改修物件について、診断・改修設計案と課題をご紹介いただくとともに、それら課題を各地域の実情に沿った形で参加者全員によるライブ Q&A 形式で解決します。今後、木造住宅の耐震改修を主たる業務として事業拡大を目指す地域の事業者にとって個別に有益な情報の提供が期待できます。原則として都道府県市町様に主催をお願いしております。

■ 目標

1. 低コストで合理的な改修を実現するために必要な設計・施工技術の再確認。
2. 住宅所有者とのコミュニケーションの工夫や意思決定のための説明方法の工夫を検討。
3. 設計者と施工者の連携と設計変更の合理的対応方法の習得。
4. 耐震改修補助金の効果的な活用方法とそれに向けた改修プランの事例紹介。
5. 耐震改修促進のためのリフォーム、断熱改修との合理的な組み合わせ設計事例の習得。

■ 提供いただきたい改修案件の例

- ・これから改修設計、改修工事に進んでいく予定だが、住宅所有者様が納得していただけるような安価な設計がなかなかできない。
- ・かつて耐震改修をご希望されている所有者の方から相談を受けたが、改修工事費用がネックになって、結局改修工事には至らなかった。
- ・耐震改修工事を実施したが、もう少し安価で所有者の負担を減らすことができなかつたのかが気になっている。

■ プログラム例（3～6 時間程度）

- 9:30 開会あいさつ（主催者）（5分）
- 9:35 「低コスト実現に向けた鉄則の復習と講習の進め方」（井戸田）（15分）
- 9:50 「耐震改修に関連する補助金制度紹介」（主催者様）（15分）
- 10:05 「低コスト耐震補強の手引き復習と改修工事補助金の活用方法」（花井）（25分）
- 10:30 「耐震改修設計案紹介＋より合理的な設計・施工に向けた意見交換」（話題提供者1）（60分）
より安価で合理的かつ魅力的な改修プランを参加者全員で議論します。各県の補助金制度の活用方法についても議論します。

以降は、選出いただいた話題提供者数に応じて適宜進行

■ 主催者様にご準備いただきたい事項

1. 話題提供者の選出

ご自身の改修設計案・体験を話題として提供・プレゼンテーションしていただける建築士・工務店・大工・行政担当者等を数名選定してください。達人塾受講経験者を想定していますが、すでに耐震改修実績のある方であれば達人塾受講未経験者でも構いません。講習会では話題提供のあと、設計案、改修の進め方等について講師のコメントを含めて受講者全員で意見交換をします。1 話題提供者あたり 1 時間程度の時間を想定しています。話題提供者の数は 3 名～5 名程度が良いですが、人数については当日の進め方と併せて柔軟に考えたいと思います。話題提供者様は、主催者様の各地域ですでに耐震改修実績のある建築士・工務店・大工等で、今後住宅の耐震改修をご自身の業務に位置づけたいというご希望の方が適任です。原則として都道府県市町様に主催をお願いしております。

2. 受講者へのアナウンスと募集

周知チラシを作成し、HP 等でアナウンスをお願いします。チラシには、共催に「国立大学法人名古屋工業大学高度防災工学研究センター」、後援に「特定非営利活動法人達人塾ねっと」を位置付けてください。また、話題提供者には耐震診断ソフト『T. S.』（無料体験版）をインストールしたノートパソコンの持参（必須）をアナウンスして下さい。日常の業務で達人診断以外（ホームズ君など）をご使用されている方は達人診断以外のソフトでも結構ですが、できれば達人診断での発表をご準備いただけるとありがたいです。

一般受講者（話題提供者以外の参加者）はノートパソコンは必要ありません。

3. 受講申し込みの受付

p. 18「対面版における受講申込受付方法およびテキストの頒布方法について」をご覧ください。

4. 講習会会場の設営と司会進行

講習会会場の借り上げ、会場費の負担、液晶プロジェクター・スクリーン・マイク（できれば 2 本以上）の準備。司会進行もお願いいたします。

■ 地域のリーダー養成コースの目的

精密診断法と耐震改修専用工法を活用した安価な耐震改修技術を身に付け、地域のリーダーとなって木造住宅の耐震改修の促進に貢献できる建築士・工務店・大工を養成する。具体的な改修案件について達人塾講師が診断・設計・施工の各段階で伴走することで安価で合理的な改修事例を実現し、耐震改修を自身の主たる業務として位置づけることができるようにするとともに、事業者を対象とした地域での講習会の講師を務めることのできるリーダーを育成することが目的。

■ プログラム例

- Step1. 県内の達人塾受講者、あるいは低コスト工法を用いた改修設計・改修工事の実績を持つ設計者（建築士・工務店担当者など）と施工者（工務店担当者・大工など）のペア（達人ペア）を1組以上編成する。
- Step2. 耐震改修補助金で改修を予定している住宅を1軒選択し、本講習プログラムの対象住宅となることについて承諾を得る（可能であれば、補助金額UPなどのインセンティブがあると良い）。
- Step3. 達人ペアと達人塾講師（2～3名）が対象住宅を現地調査（1軒120分程度）。
- Step4. 各達人ペアが担当住宅の改修プランを作成し、達人ペアと達人塾講師と共有のうえ、改修設計案について議論。必要があれば修正する。このとき、見積額も提示されると良い。（オンラインで開催、90分程度）。
- Step5. 改修工事着工後、県内の建築士・工務店を対象に工事中の住宅の見学会を開催。また、このタイミングと合わせて、達人塾（コースは任意）の開催も推奨される。
- Step6. 竣工後、対象住宅を低コスト工法での改修事例として広報し、低コスト工法の有効性PRに活用するとともに、優良改修事業者として達人ペアの情報公開を行うなど、事業拡大のフォローを行う。また、地域の事業者を対象とした木造住宅の耐震改修促進のための技術講習会講師を依頼し、地域のリーダーとなって活躍するためのサポートを行う。

■ 本コースの運用について

主催の都道府県が主体となって運用していただくことをお願いいたします。Step3.～Step5.では達人塾講師が全面的にサポートいたします。詳細については、個別に主催者（都道府県、あるいは市町の担当者）と達人塾講師で打ち合わせ・調整させていただきます。本コースは複数年にわたって継続的に実施するとより高い効果が見込まれます。本コース開催ご希望の場合は、事前に詳細についてオンライン等でお打ち合わせをさせていただきますので、その旨ご承知おきください。

■ 主催者にご準備いただきたい設備、物品、テキスト、アナウンス等

1. Step3. で必要となる移動手段の確保。利便性に問題がなければ、公共交通機関でも可。
2. Step4. で達人ペアが使う耐震改修設計ソフト「達人診断」2ライセンス（初年度分のライセンスは無償提供します）。
3. 達人ペアが使うテキスト（NPO法人達人塾ねっとが無償提供します）。
4. 達人ペア募集のアナウンス、人選、調整。

対面版における受講申込受付方法およびテキストの頒布方法について

(a) 主催者へ申込の場合

主催者様（都道府県市町）に申込窓口をご準備いただき、受付を行ってください。

a-1) テキストを当日配布の場合

必要な数のテキストを事前に主催者様宛に郵送しますので、講習会当日現金（一式 5,000 円）にて頒布+集金をお願いします。テキストの必要部数は対面講習の少なくとも 10 日ほど前までにお知らせください。テキスト代を主催者様にご負担いただける場合には、お送りしたテキスト代金を後日お振り込みください（主催者様がまとめてテキストをご負担いただける場合には、部数に応じた割引制度があります。詳細は p.1 をご覧ください）。

a-2) テキストを事前送付し、オンライン版で予習をしていただいてから対面受講する場合

対面講習の 2 ヶ月以上前から対面開催のアナウンス、およびオンライン版の申し込みを開始し、申込締め切り日を対面講習の 2 週間ほど前に設定してください。それまでに申込のあった受講者に随時テキストを送付し、オンラインで予習をしていただきます。テキストの送付方法等については、p.22「県が主催し、受講者は県に申込をする場合」のオンライン版実施要項に準じます。

(b) NPO 法人達人塾ねっとへ申込の場合

NPO 法人達人塾ねっとで申込フォームを開設しますので、申し込みがあった段階で NPO から各受講者にテキストを送付します。オンライン版で事前の予習が可能です。テキストの送付方法等については、p.23「県が主催し、受講者は NPO に申込をする場合」のオンライン版の実施要項に準じます。送付資料数に応じた事務手数料が必要です。事務手数料については p.24 をご覧ください。

2026年度 講義概要（オンライン版）

開講期間 2026年7月～2027年6月：好きな時間にビデオを視聴するオンデマンド方式です

オンラインビデオ教材の内容（開講時には内容が変更される場合もあります。）

- | | | |
|----|------|--------------------------|
| 1 | 第1講 | 耐震改修促進に向けた7つの鉄則 |
| 2 | 第2講 | 低コスト耐震補強の手引き解説 |
| 3 | 第3講 | ネットワークの重要性と行政の役割 |
| 4 | 第4講 | 実例で学ぶコストダウンの隠しワザ |
| 5 | 第5講 | 住宅所有者への説明技術 |
| 6 | 第6講 | 精算法、偏心率計算、N値計算の基礎 |
| 7 | 第7講 | 手計算で理解する精算法、N値計算法（入門編） |
| 8 | 第8講 | 手計算で理解する必要耐力、N値計算法（応用編） |
| 9 | 第9講 | 耐震診断・設計プログラムの操作方法と要点 |
| 10 | 第10講 | 設計演習課題（1） |
| 11 | 第11講 | 設計演習課題（2） |
| 12 | 第12講 | 設計演習課題（3） |
| 13 | 第13講 | 設計演習課題（4） |
| 14 | 第14講 | 施工者として知っておきたい補強設計のポイント |
| 15 | 第15講 | 木造住宅の施工品質と耐震性能 |
| 16 | 第16講 | 低コスト工法の隠しワザを現場で完全実演 |
| 17 | 第17講 | 改修設計の疑問すべて解決！ 達人テクニックQ&A |
| 18 | 第18講 | 改修現場の疑問すべて解決！ 達人テクニックQ&A |

対面版受講コースごとのオンライン版講義対応表

◎：必須 ○：推奨

	講義名	受講時間の目安	ベーシックコース	アドバンスコース	エキスパートコース	施工演習コース	設計演習コース
第1講	耐震改修促進に向けた7つの鉄則	70分	◎	◎	◎	◎	◎
第2講	低コスト耐震補強の手引き解説	80分	◎	◎	◎	○	○
第3講	ネットワークの重要性と行政の役割	20分	◎	◎	◎	◎	
第4講	実例で学ぶコストダウンの隠しワザ	60分	◎	◎	◎	○	◎
第5講	住宅所有者への説明技術	45分	○	◎	◎	○	○
第6講	精算法、偏心率計算、N値計算の基礎	22分	○	◎	◎		◎
第7講	手計算で理解する精算法、N値計算法（入門編）	45分	○	◎	◎		◎
第8講	手計算で理解する必要耐力、N値計算法（応用編）	90分	○	◎	◎		◎
第9講	耐震診断・改修設計ソフトの操作方法と要点	15分		○	○		◎
第10講	設計演習課題（1）	60分	◎	◎	◎	○	◎
第11講	設計演習課題（2）	60分	○	◎	◎		◎
第12講	設計演習課題（3）	55分		○	◎		◎
第13講	設計演習課題（4）	55分			○		○
第14講	施工者として知っておきたい補強設計のポイント	45分			○	◎	○
第15講	木造住宅の施工品質と耐震性能	16分			○	◎	
第16講	低コスト工法の隠しワザを現場で完全実演	42分	○	○	◎	◎	○
第17講	改修設計の疑問すべて解決！ 達人テクニックQ&A	23分	○	◎	◎	○	◎
第18講	改修現場の疑問すべて解決！ 達人テクニックQ&A	16分	○	◎	◎	◎	○

*オンライン版受講の場合のご注意：この対応表は参考です。コースにこだわらず、ご興味のもてそうな講義から順に視聴いただいて結構ですが、主催者からコース修了確認のため、達成度確認テストの受験が求められている場合には、対応するコースの講義を必ずご視聴下さい。

オンライン版の位置づけ

達人塾では技術的な内容の伝授だけでなく、各地域のご関係諸氏との意見交換や交流も耐震化促進には重要な要素と位置づけ、原則対面型の講習を主として参りました。一方、2020年の新型コロナウイルスの感染拡大に伴って多くの方が集まれない状況が続く、達人塾ではこの状況に対応すべく、オンライン版を2020年度から開講しました。当初、オンライン版はコロナ対策としての一時的な開講形式と考えていましたが、いつでも受講できる、ビデオを止めたり巻き戻したりすることができる等、対面版にはない効果的な学習ができるとの声もたくさんいただきました。

こうしたオンライン版の優れた学習効果を踏まえ、2026年度においても対面版と並行してオンライン版を継続して提供いたします。対面講習の代替という役割だけではなく、時間の限られた対面講習を補う補助講習として、あるいは対面講習の予習としてもご活用いただけます。対面講習と合わせて、建築士・大工の技術力のアップと地域の耐震化促進に向けてオンライン版をご活用ください。

「達人塾／オンライン版」各講義の概要

1 第1講 耐震改修促進に向けた7つの鉄則

地域の住宅耐震化のために建築士・設計士・大工が担うべき役割とその具体的な内容を「7つの鉄則」の形で分かりやすく伝授します。

2 第2講 低コスト耐震補強の手引き解説

安価な耐震改修工法が紹介されている愛知建築地震災害軽減システム研究協議会発行の「木造住宅低コスト耐震補強の手引き」を徹底解説します。

3 第3講 ネットワークの重要性と行政の役割

木造住宅の耐震改修に関わる関係者間のネットワーク構築と行政の役割について、耐震改修先進県の取り組みを紹介しながら解説します。

4 第4講 事例で学ぶコストダウンの隠しワザ

耐震改修工事の実例に基づき、診断精度向上の重要性、耐震改修専用工法施工のノウハウなど、実務で超役立つ情報をわかりやすくご紹介します。

5 第5講 住宅所有者への説明技術

どんなに工事費が安くても、家主の決断がなければ耐震改修は実現しません。家主が耐震改修を決心するために必要な安全・安心の説明技術について、具体的に解説します。

6 第6講 精算法、偏心率計算、N値計算の基礎

診断精度を上げるために必要な3点セット（精算法、偏心率計算、N値計算）の概要と考え方について構造力学の基礎からわかりやすく解説します。

7 第7講 手計算で理解する精算法、N値計算法（初級編）

精算法とN値計算法について、基礎的な例題を手計算で解くことによって理解します。

8 第8講 手計算で理解する必要耐力，N値計算法（応用編）

精算法とN値計算について、実践的な例題を手計算で解くことによって理解を深めます。また、診断ソフトを使わずに合理的に計算するためのワザも公開します。

9 第9講 耐震診断・設計プログラムの操作方法と要点

耐震診断プログラム「達人診断」（無料体験版）を用いて、住宅データの入力方法、改修設計の基本操作方法等を演習するとともに、診断ソフト活用のノウハウを公開します。

10 第10講 設計演習課題（1）＋達人案解説

平屋の住宅の例題に取り組み、耐震改修設計の基礎を演習します。

11 第11講 設計演習課題（2）＋達人案解説

2階建ての一般的な既存不適格住宅を対象とした設計演習課題を通して、耐震改修設計の基礎から応用を系統的に習得します。また、住宅所有者の意向も考慮した耐震改修設計のあり方について学びます。

12 第12講 設計演習課題（3）＋達人案（達人案の解説はビデオをご覧ください）

種々の耐震改修専用構法を駆使して、2階建ての伝統工法木造住宅の高難易度耐震改修例題に挑戦します。より高いスキルを習得するためのチャレンジ演習課題です。

13 第13講 設計演習課題（4）（達人案の紹介と解説はビデオをご覧ください）

第11講の課題を多雪区域に建つ建物と設定変更した難関課題です。精密診断法を駆使し、いかに合理的に必要な耐力と保有耐力を評価するかがポイントです。

14 第14講 施工者として知っておきたい補強設計のポイント

耐震改修設計を施工者の立場から考えることで、施工者として知っておきたい設計の考え方やポイントを、具体例を通して習得します。

15 第15講 木造住宅の施工品質と耐震性能

構造用合板に留め付ける釘の位置と打ち方が耐力壁の耐震性能に及ぼす影響を理解し、施工品質が住宅の耐震性能に与える影響が少なくないことを学びます。

16 第16講 低コスト工法の隠しワザを現場で完全実演

安価に耐震改修を実現させるための必須技術である低コスト工法を施工するための様々な隠しワザを豊富な現場写真・映像を通して徹底的に解説します。

17 第17講 改修設計の疑問すべて解決！ 達人テクニックQ&A

耐震改修設計に関する設計士からの疑問に達人たちがズバリ答えます。

18 第18講 改修現場の疑問すべて解決！ 達人テクニックQ&A

耐震改修施工に関する現場からの疑問に達人たちがズバリ答えます。

開催方式 [1] 県が主催し、受講者は県に申込をする場合

受講者	県または市町（主催者）	高度防災工学研究センター	NPO 法人達人塾ねっと
	<ul style="list-style-type: none"> ●達人塾開催依頼 申込先：office@tatsujinjuku.net	○開催の確認、承認	○申込受付
●受講申込	<ul style="list-style-type: none"> ●募集 チラシ、HP 等でアナウンス ○受付 参加者名簿の作成等 		
資料頒布方法 [1] 県から受講者に頒布			
○資料受取	<ul style="list-style-type: none"> ●受講者人数の通知 ●受講者への資料の配付 講習ビデオへのアクセスキーの通知。県市のチラシ同封。 		<ul style="list-style-type: none"> ○受講者人数の確認 ●資料一式の郵送 講習ビデオへのアクセスキーの通知
資料頒布方法 [2] NPO から受講者に頒布（県市の資料等の同封はできません）			
○資料受取	<ul style="list-style-type: none"> ●受講者名簿と郵送先 発送資料数に応じた事務手数料が必要です(p.24 参照)		<ul style="list-style-type: none"> ●受講者へ資料の郵送 講習ビデオへのアクセスキーの通知
●オンライン受講			●NPO ホームページ
NPO 法人達人塾ねっとの HP にアクセスして受講			
資料代支払方法 [1] 県から NPO へ支払い（資料代+送料（資料頒布方法[2]の場合のみ））			
	●支払い		●資料代の請求
資料代支払方法 [2] 受講者から NPO へ支払い（資料代+資料郵送料）			
●支払い			<ul style="list-style-type: none"> ●資料代の請求 資料配付時に請求書を同封
資料代）・資料頒布方法 [1] の場合 資料代 5,000 円 × 受講者数 ・資料頒布方法 [2] の場合 (資料代 5,000 円 + 送料 600 円) × 受講者数			
受講認定 [1] 受講申込+達成度評価テストで受講を認定			
●オンライン受験	○受講済判断		<ul style="list-style-type: none"> ○試験 HP の開設 ●各受講者の成績通知
受講認定 [2] 受講申込で受講を認定			
	●受講申込者リストで判断		

開催方式 [2] 県が主催し、受講者は NPO に申込をする場合

受講者	県または市町（主催者）	高度防災工学研究センター	NPO 法人達人塾ねっと
	●達人塾開催依頼 申込先：office@tatsujinjuku.net	○開催の確認、承認	○申込受付
●受講申込	●募集 チラシ、HP 等でアナウンス		○受付 参加者名簿の作成等
資料頒布方法 [1] 県から受講者に頒布			
○資料受取	●受講者への資料の配付 講習ビデオへのアクセスキーの通知。県市のチラシ同封。		●資料一式の郵送 講習ビデオへのアクセスキーの通知、受講者名簿
資料頒布方法 [2] NPO から受講者に頒布（県市の資料等の同封はできません）			
○資料受取	○資料受取	○資料受取	●受講者へ資料の郵送 講習ビデオへのアクセスキーの通知
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 発送資料数に応じた事務手数料が必要です(p.24 参照) </div>			
●オンライン受講 NPO 法人達人塾ねっとの HP にアクセスして受講			●NPO ホームページ
資料代支払方法 [1] 県から NPO へ支払い（資料代+送料（資料頒布方法[2]の場合のみ））			
	●支払い		●資料代の請求
資料代支払方法 [2] 受講者から NPO へ支払い（資料代+資料郵送料）			
●支払い			●資料代の請求 資料配付時に請求書を同封
資料代） <ul style="list-style-type: none"> ・資料頒布方法 [1] の場合 資料代 5,000 円 × 受講者数 ・資料頒布方法 [2] の場合 (資料代 5,000 円 + 送料 600 円) × 受講者数 			
受講認定 [1] 受講申込+達成度評価テストで受講を認定			
●オンライン受験	○受講済判断		○試験 HP の開設 ●各受講者の成績通知
受講認定 [2] 受講申込で受講を認定			
	受講申込者リストで判断		

達人塾ねっとから受講者様へテキストを直接発送する場合の事務手数料について

NPO 法人達人塾ねっとから各受講者様へテキストを直接発送する場合には、恐れ入りますが主催者様に下記の事務手数料についてご負担いただいております。なお、事務手数料の上限は 90,000 円です。ご理解のほど、なにとぞよろしくお願いいたします。

1. 基本事務手数料 48,000 円
2. 発送手数料 テキスト 1 部につき 500 円

例 1) 受講者 50 名に NPO 法人達人塾ねっとからテキストを発送した場合

基本事務手数料 48,000 円 + 発送手数料 500 円 × 50 名 = 48,000 円 + 25,000 円 = 73,000 円

例 2) 受講者 150 名に NPO 法人達人塾ねっとからテキストを発送した場合

基本事務手数料 48,000 円 + 発送手数料 500 円 × 150 名 = 48,000 円 + 75,000 円 = ~~123,000 円~~
→ 90,000 円

* 主催者様にテキストをまとめて発送する場合には、事務手数料、発送手数料は発生いたしません。また、主催者様への一括したテキスト送料は無料です。

<達人塾オンライン版開催に関する Q&A>

Q：オンライン版とはどんな講習方法ですか？

A：インターネット上に公開した達人塾の講習ビデオを、受講者の方が好きな時間に好きな場所で何度でもご覧いただくことのできる配信サービスです。講習のための資料をご購入いただいた方にビデオへのアクセスキー（ID とパスワード）をお知らせします。

Q：アクセスキーは全国共通ですか？

A：アクセスキーは県ごとに異なったものを発行いたします。

Q：オンライン版のシステムを利用するのに利用料は必要ですか？

A：必要ありません。

Q：インターネット環境のない方のために、会議室等で上映会を催したいのですが可能でしょうか。

A：もちろん可能です。会場に1～2名の講師を派遣して会場での質問に対応することも可能です。詳細はお問い合わせ下さい。

Q：オンライン版は何回でも視聴できますか？

A：受講者にお知らせするアクセスキーを使って年度内は何度でも視聴できますが、主催者様が視聴期間を限定したい等のご要望があればアクセス可能期間を設定させていただきます。

Q：申込をしてから資料が届くまでにどれくらいの時間が必要ですか？

A：県にまとめて発送する場合1週間程度、各受講者に個別に郵送する場合には2週間程度必要です。

Q：達成度評価テストは何回でも受けられるのですか？

A：1回しか受験できないような設定は受験者を特定する必要がありますので運用が難しいです。何回でも受験できる方式で実施させて下さい。

Q：達成度評価テストはどのように実施するのですか？

A：受講者がビデオを視聴した後、オンライン形式で実施します。テストは全コース（地域のリーダー養成コースを除く）に対応したものが用意されています。

Q：達成度評価テストの合格点は何点ですか？

A：主催者が定めた受講期間終了後、各受講者の達成度確認テストの成績を主催者宛にお知らせします。受講認定の有無、合否等については主催者にてご判断下さい。

Q：講師謝金は必要ですか？

A：旅行、時間拘束を伴いませんので不要です。

Q：対面型の講習を受講した人は「オンライン版」を受講できますか？

A：はい、通常の対面型の講習を受講された方には無料で「オンライン版」のアクセスキーを提供します。2027年6月末までは何度でもご視聴いただけます。

Q：昨年もオンライン版を受講したのですが、割引はありませんか？

A：2025年度のオンライン版をご受講いただいた方は、2026年度テキスト代を半額の2,500円にて頒布いたします。ただし、2025年、2026年ともにオンライン版のみをご受講された方の特典です。

開催要件

(1) 開講コースの選定について

<対面版>

『木造住宅耐震リフォーム達人塾』は受講者のスキルアップのレベルに応じて下記の各講習コースを設けております。想定される受講対象者に応じて、適切なコースをご選択ください。詳細は p. 1～p. 17 をご覧下さい。

1. ベーシックコース（今年度もオンライン版のみの開講とさせていただきます）
2. アドバンストコース
3. エキスパートコース
4. 施工演習コース
5. 設計演習コース
6. 地域応援コース
7. 地域のリーダー養成コース

<オンライン版>

オンデマンド方式でビデオを視聴する形式の講習です。ビデオは 18 本の講義（総時間約 14 時間）で構成され、18 の講義を組み合わせることで対面版の各コース（地域応援コース、地域のリーダー養成コースを除く）に対応します。詳細は p. 19～p. 26 をご覧下さい。

(2) 主催者様（都道府県市町区等）にお願いすること

i) 対面方式の開催の場合

- ① 講習会の主催、周知チラシの作成、会場の借り上げ、会場費の負担、受講者の募集等
* 詳細は p. 1～p. 17 の各講習コースの説明をご参照ください。
- ② 講師旅費・講師謝金の負担
* 旅費、謝金については、貴県の規定に沿った額でお支払いいただければ結構です。謝金は対面講習に出席した各講師にお支払いください。本年度より、全講師について謝金のご手配をよろしく願いたします。開催コースごとの担当講師については p. 1 をご覧下さい。
- ③ 講習会テキスト代金の受講者からの徴収
* テキスト代を講習会当日に会場で徴集する場合には、恐れ入りますが会場でのテキスト代金徴集をお願いいたします。なお、主催者様がテキスト代をご負担頂ける場合、あるいは事前に各受講者から徴集済の場合はこの限りではありません。

ii) オンライン方式の開催の場合

開催方式によってご準備いただく内容が異なります。p. 22～23 をご覧下さい。

(3) 後援者（特定非営利活動法人達人塾ねっと）の負担

- ① 講師の日程調整と手配
- ② 講習会資料の準備、発送（講習会資料は「特定非営利活動法人達人塾ねっと」が提供）
- ③ 受講者を対象としたアンケートの実施と集計、および結果の主催者への提供

達人塾（対面版・オンライン版）開催のお申し込み、お問い合わせ先

■ お申し込み・お問い合わせ先

特定非営利活動法人達人塾ねっと 担当：井戸田秀樹、六嶋 敬子

E-mail : office@tatsujinjuku.net

Tel : 070-1676-7408（月～金、10：00～16：00）

（恐れ入りますが、お申し込み、お問い合わせはなるべく電子メールにてお願いいたします）

■ 達人塾開催のお申し込み方法

下記各項目を明記の上、電子メールにて office@tatsujinjuku.net までお申し込みください。

1. 対面版 or オンライン版
2. 開催希望コース（対面版の場合）または、開催方式（オンライン版の場合）
3. 対面開催の場合、開催希望時期（具体的な開催希望日程をお知らせください）
4. ご担当者様連絡先（ご所属、メールアドレス等）
5. その他、ご要望、ご質問など

講師情報（五十音順）

井戸田秀樹（いどたひでき）	名古屋工業大学大学院教授（名古屋市）
川端 寛文（かわばたひろふみ）	NPO 法人達人塾ねっと理事長（名古屋市）
成田 完二（なるたかんじ）	木造耐震ネットワーク知多（半田市）
花井 勉（はないつとむ）	(株)えびす建築研究所代表取締役（東京都）
丸谷 勲（まるたにいさお）	(株)U建築代表取締役（名古屋市）

注) これ以外にも、各地域でご活躍の事業者の方に講師をお願いする場合があります。